

## Singapore Snapshot



### ▶ マリーナ・バラージ

「マリーナ・バラージ(Marina Barrage)」は、マリーナ湾を囲む2つの埋立地の間に全長350メートルの堰を建設して造られた国内最大規模の貯水池です。この構想を発案したのはリー・クワンユー顧問相。20年前、当時首相であった顧問相はマリーナ運河の河口を仕切り、流水を2～3年かけて自然な形でせき止め淡水の貯水池を造れないかと考えていました。2008年11月1日、最新式の集水施設を備えた国内15番目の貯水池がついに誕生しました。

この新しい貯水池は高度な膜技術を採用し、国内の水需要の10%以上を賄う給水能力を持っています。さらに、総合治水対策計画の一環として、海拔の低い都市部の洪水を防ぐ役割も担っています。湾内部にあるため潮の干満の影響も少なく、ウィンドサーフィン、カヤック、ドラゴンボートレースなどのマリンスポーツを楽しむことができます。

## COLUMN ビジネスファイル

### 日系小売企業、シンガポールへ進出

日系小売企業が次々とシンガポールに出店。東南アジア進出への足掛かりを築いています。

ファーストリテイリング社は、シンガポールにカジュアル衣料専門店「ユニクロ」を

初出店します。1号店は4月9日に東部エリアの新設ショッピングセンター「タンパニーズワン」に、2号店は6月上旬にオーチャード・ロードに建設中の大型ショッピングセンター「イオン・オーチャード」にオープンします。同社の海外進出は、英国、中国、香港、韓国、米国、フランスに続くもので、東南アジアでは初の店舗となります。

大手ファミリーレストランチェーン「サイゼリア」は、昨年11月に店舗面積3700平方フィート、座席数190の1号店を日系

テナントが多数入居している「リャンコートショッピングセンター」にオープンしました。シンガポール進出にあたっては、約9000万円(140万SGD)を出資し、100%子会社をシンガポールに設立しています。上海、広州、北京、台湾にも出店しており、海外店舗数は20以上となっています。

両企業は、東南アジアでの事業拡大を目指しており、シンガポールでの出店は東南アジア市場を開拓する上で重要な布石となると期待しています。

## Singapore Investment News April 2009

発行：シンガポール経済開発庁 (EDB)

▼本レターに関するお問合せは、以下にお願いいたします。  
シンガポール共和国大使館参事官(産業)事務所  
Tel. 03 (3501) 6041  
E-mail edbjapan@edb.gov.sg

【シンガポール経済開発庁 (EDB) とは】

経済開発庁 (Economic Development Board : EDB) は1961年に設立された貿易産業省傘下の政府機関で、シンガポールの産業育成、投資誘致を担っています。「外資系企業誘致のワンストップセンター」として、海外19カ所に事務所を持ち、外国企業に投資先としてのシンガポールの情報を提供するだけでなく、世界の経済、技術、市場動向を把握することで、シンガポールで競争力を持ちえる産業や分野を育成するための経済戦略を立案しています。日本には、東京、大阪に事務所を構え、日本企業のシンガポール投資をサポートしています。